

# 羅針盤



2018年8月31日(金) 第57号

学べば学ぶほど、自分がどれだけ無知であるかを思い知らされる。自分の無知に気づけば気づくほど、より一層学びたくなる。

(アルバート・アインシュタイン (1879-1955))

今年の夏は「危険」と形容されるほどの猛暑でした。そんななか、全国大会に参加したり、語学研修に参加するなど、様々な経験を積んだ17期生がいます。文章を寄せていただきました。考えさせられる点、参考になることがあると思います。(次号でも“寄稿”を紹介する予定です)

## この夏の経験から

「夏休みを振り返って」 7組 渡邊 穂乃夏

今年の夏休みは部活が予想以上に忙しく、勉強にかけられる時間の使い方が難しかったと感じています。部活と勉強をどうすれば上手に両立できるのかを考え直す良い機会になりました。夏休み中にオープンキャンパスや部活の様々な活動を通し、たくさんの刺激を受けました。中でも、私のモチベーション・アップに繋がったのは、「科学者の卵」と「信州総文祭」に参加したことです。「科学者の卵」では、夏休み中、計3回の講座に参加し、講義を聴いたり、英語での研究発表を見たりしました。各地の進学校の生徒に囲まれ、緊張もありましたが、研究内容を理解したうえで自分の考えをしっかりと持つ力を付けられたと思います。「信州総文祭」では、全国の高校生の研究発表を見て、研究の進め方、論文の書き方、パワーポイントの作り方、発表の仕方など、本当にたくさんのことを得られたと思います。化学で最優秀賞を受賞した明善高校のように、相手に興味を持たせられるような発表ができるようになりたいです。私の班の研究は、まだほとんど進んでいないので、夏休みに培ったことを最大限に生かして、研究に励みたいと思います。県大会3連覇、佐賀総文祭出場を目指して頑張ります。

「全国大会に参加して」

8組 田村 紀瑛

私は放送委員会に所属しています。今年も放送委員会は「N コン」「総文」の2つの全国大会に夏休み中行ってきました。安積黎明高校放送委員会は、昨年も全国大会への参加があったので、私は全国大会への参加は2度目です。しかし、昨年の全国大会と今年の全国大会は、私にとって全く異なるものでした。なぜなら「先輩についていく側」から「大会に参加する側」になったからです。去年は、大会の雰囲気学ぶことで精一杯でした。そのため、責任を感じることは、ほとんどありませんでした。しかし今年は自分たちが参加し、いろいろなものを背負って参加しました。去年とは比べものにならない緊張感がそこにはありました。結果はとてもしゃいいものでしたが、それらが自分の肩にのしかかってくるような気持ちになりました。これからは、私たちの代が1番上の年です。放送委員会の仕事や責任が増えるのも当然。そのうえ勉強も今以上に大変になります。そのために、今何が出来るのか、今から何をすればいいのかを考える夏休みになりました。

修学旅行に向け、「参加承諾書」と「食物アレルギー調査」の用紙を配付してあります。9月7日(金)までの提出をお願いします。また、「参加承諾書」には、出発日の朝の集合方法等について確認する欄があります。ご協力をお願いいたします。

「ジョブシャドウに参加して」(一部抜粋)

1組 山浦 愛生

今回のジョブシャドウを通じて考えたこと。まず、コミュニケーションの大切さについてです。SAPジャパンでペアになって付いた方と話をすると、緊張が大きくなってしまい上手く話をする事ができなくなってしまいました。相手の目を見て話を聞くこと、自分自身の話をすること、自分の聞きたいことや思ったこと、意見などを正しく伝えることの難しさを実感し、改めてコミュニケーションの大切さを感じました。その時にいただいた“相手に興味を持って話を聞くこと”というアドバイスを、これから社会人になり、今まで以上に多くの人との関わりが生まれ、コミュニケーションが大切になってくるなかで大事にしたいと思いました。

2組 山田 真尋

私がジョブシャドウに参加した理由を話した時、“私は将来について何も決まっていなくて、やりたい事を見つける良い機会だと思って参加しました”と伝えたとこ、 “大人になっても、やりたい事を見つけられない人もたくさんいるんだよ。やりたい事を見つけることも大切なことだけど、今やっていることを、どうすれば楽しくてやりがいのあるものになるのかを考えるのも大切かもしれないね”と話された時は、とても衝撃を受けました。私は今まで、目先のことばかり考えすぎていて、今の状況をしっかりと把握できていないことに気づかされました。私の考えが大きく変わることをたくさん知ることができて、視野が広がりました。

「私生活での良い経験」

8組 國分 晴花

私は夏休み中、いつも母親がしている家事、料理を私が行った。朝早く起きて洗濯物を干して、朝食や弁当を作り、部活に行き、帰ってきたらそうじをして課題をやり、夕飯を作る。というサイクルでの生活をした。何もかも不慣れで、時間がかかり、とても大変だったというのが率直な感想だ。家事・料理に活動時間の大半を使うため、課題をやる時間を十分にとれない日もあった。疲れて部活から

9月	曜日	行事等	週末課題等の予定	朝学習
1日	土		数・英(完全)	
2日	日			
3日	月		英(完全) 提出	数学
4日	火		数Ⅱ 提出	英語
5日	水			国語
6日	木	前期末考査一週間前	数B 提出	考査に向けて
7日	金			
8日	土			
9日	日			
10日	月			考査に向けて
11日	火			
12日	水			
13日	木	前期末考査(～19)		
14日	金			
15日	土			
16日	日			

ら帰ってきた日に、家族が手伝いをしてくれていた日は、とてもうれしく思い感動した。

夏休みは、全国大会や遠征のため忙しく、海外研修やボランティアをすることはできなかったが、私生活で良い経験ができた。働いて帰ってきてから家事・料理をする母親が、どれだけすごいかを身をもって知ることができた。ありきたりかもしれないが、自分にできる範囲の手伝いをしていこうと思った。

**もうすぐ前期末考査になります。計画的に学習をすすめましょう。**